



安川電機 (6506)

2012年度第2四半期決算説明会:要約版 (2012年10月19日)

2012年3月21日～2012年9月20日

代表取締役社長 津田 純嗣

本資料に記載されている業績見通し等に関する将来の予測は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この見通しとは異なることがあります。

実際の業績等に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業領域を取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、為替・株式市場の動向等があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

目次

1. 2012年度上期決算について

- ・ 2012年度上期連結決算のポイント
- ・ 2012年度上期連結セグメント別業績
- ・ 事業セグメント別売上高構成比（11年度上期 ⇒ 12年度上期）
- ・ 仕向先別売上高（11年度上期 ⇒ 12年度上期）
- ・ 仕向先別売上高構成比（11年度上期 ⇒ 12年度上期）
- ・ 営業利益増減要因分析（11年度上期 ⇒ 12年度上期）

2. 2012年度下期および通期見通しについて

- ・ 2012年度通期連結業績見通しのポイント
- ・ 2012年度通期連結セグメント別業績見通し
- ・ 営業利益増減要因分析（11年度 ⇒ 12年度計画）
- ・ 2012年度下期における取り組み

3. 参考資料

- ・ 設備投資、研究開発費、為替状況（2010年度～2012年度計画）
- ・ 連結売上高・営業利益推移（2000年度～2012年度計画）
- ・ B/S構造の推移（連結）
- ・ 四半期連結売上高推移（セグメント別・仕向先別）／（仕向先別 / モーションコントロール・ロボット）
- ・ 配当金の推移（2006年度～2012年度予想）
- ・ 主要生産拠点（グローバル事業展開を支える世界最強のネットワーク）
- ・ アジア地域における取り組み

セグメント別事業概要

モーションコントロール:(M)

【主要製品】

- ・ACサーボモータ、コントローラ
- ・リニアサーボ
- ・インバータ
- ・パワーコンディショナ
- ・EV用ドライブシステム など



ACサーボ



汎用インバータ



太陽光発電用
パワーコンディショナ



EV用モータドライブ
システム

ロボット:(R)

【主要製品】

- ・産業用ロボット
 - アーク・スポット溶接・塗装ロボット
 - FPD搬送ロボット、新世代ロボット
- ・半導体製造装置用ロボット
 - 半導体製造装置用クリーン・真空ロボット など



レーザー切断・溶接対応
高精度軌跡ロボット



双腕ロボットによる
製品組立



パラレルリンクロボット

システムエンジニアリング:(S)

【主要製品】

- ・鉄鋼プラント用電機システム
- ・上下水道用電気計装システム
- ・大型風力発電用電機品 など



上下水道システム



連続鋳造設備



大形風力発電用
発電機とコンバータ

情報:(情報)

【主要製品】

- ・コンピュータ周辺機器
- ・レーザー応用システム
- ・ソフトウェアの開発、IT関連のサービス など



ハイパワーレーザー対応スキャナヘッド



NetSHAKER ProxyBox

1. 2012年度上期決算について

2012年度上期連結決算のポイント

- ・ (M)および(R)が牽引し、上期目標を達成
- ・ 一方、震災特需のあった前年同期比では減収減益

	<u>12年度上期 実績</u>	12年度上期 前回計画	前回 予想比	11年度上期	<u>前年同期比</u>	
					<u>増減額</u>	<u>増減率</u>
売上高	<u>1,504億円</u>	1,500億円	+4億円	1,580億円	<u>▲75億円</u>	<u>▲4.8%</u>
営業利益	<u>61億円</u>	45億円	+16億円	92億円	<u>▲31億円</u>	<u>▲33.6%</u>
経常利益	<u>63億円</u>	45億円	+18億円	92億円	<u>▲29億円</u>	<u>▲31.7%</u>
当期純利益	<u>34億円</u>	25億円	+9億円	64億円	<u>▲29億円</u>	<u>▲46.1%</u>

(注)表内「12年度上期前回計画」は、2012年7月18日1Q決算発表時点の計画数値

(注)表記: (M) = モーションコントロール (R) = ロボット

2012年度上期連結セグメント別業績①

・(R)および(S)は、増収増益

・(M)は中国市場の減速を受けるものの、営業利益は前回予想を上回る

(単位:億円、%)

	12/上期 実績	12/上期 前回予想	前回 予想比	11/上期 実績	前年同期比	
					増減額	増減率
売上高	1,504	1,500	+4	1,580	▲75	▲4.8%
(M) モーションコントロール	704	730	▲25	843	▲138	▲16.4%
(R) ロボット	544	540	+4	485	+58	+12.1%
(S) システムエンジニアリング	161	150	+11	143	+18	+12.7%
情報	63	55	+8	60	+3	+5.2%
営業利益	61	45	+16	92	▲31	▲33.6%
(M) モーションコントロール	19	10	+9	60	▲40	▲66.9%
(R) ロボット	40	33	+7	31	+8	+27.4%
(S) システムエンジニアリング	4	4	+0	0	+4	+784.8%
情報	▲2	▲1	▲1	▲0	▲1	-
経常利益	63	45	+18	92	▲29	▲31.7%
当期純利益	34	25	+9	64	▲29	▲46.1%

(注) 表内「12/上期前回予想」は、2012年7月18日1Q決算発表時点の計画数値

2012年度上期連結セグメント別業績②

(M):

- ・ ACサーボは、スマートフォン関連需要が牽引
- ・ インバータは、中国・米州向けが堅調
- ・ 震災特需のあった前年同期比では減収減益

(R):

- ・ 国内外とも自動車向けが牽引し、増収増益
- ・ 一方、液晶、半導体向けは低調

(S):

- ・ 鉄鋼産業向けの着実な回復により増収増益

(情報):

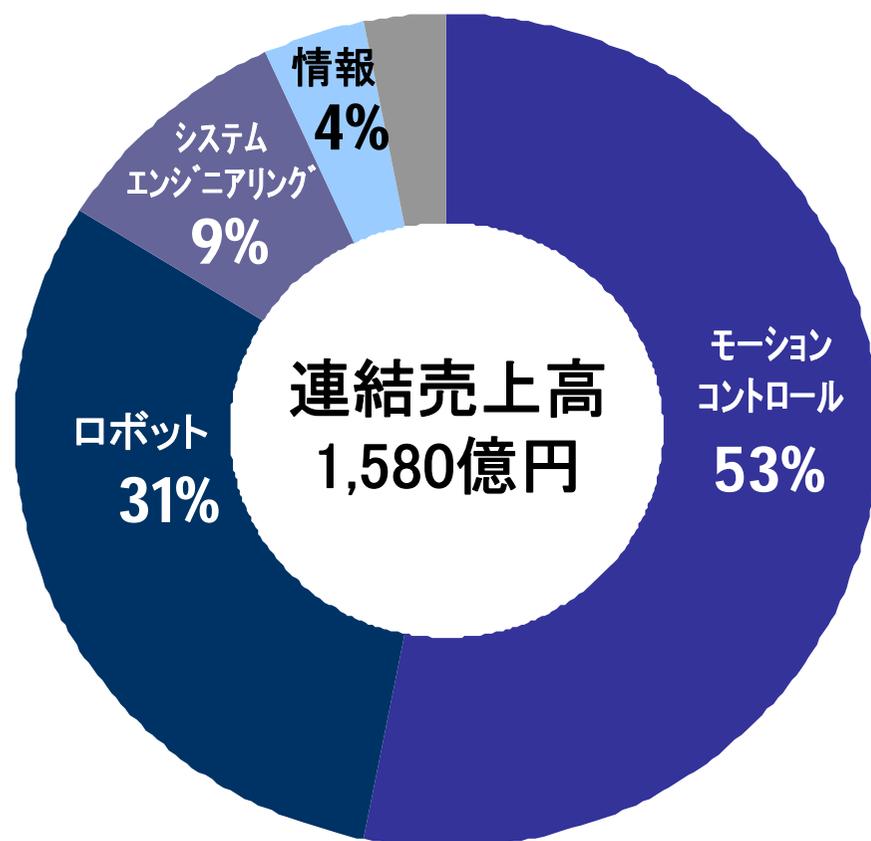
- ・ 情報関連投資は引き続き低調。増収減益

(注)表記:(M)=モーションコントロール (R)=ロボット (S)=システムエンジニアリング

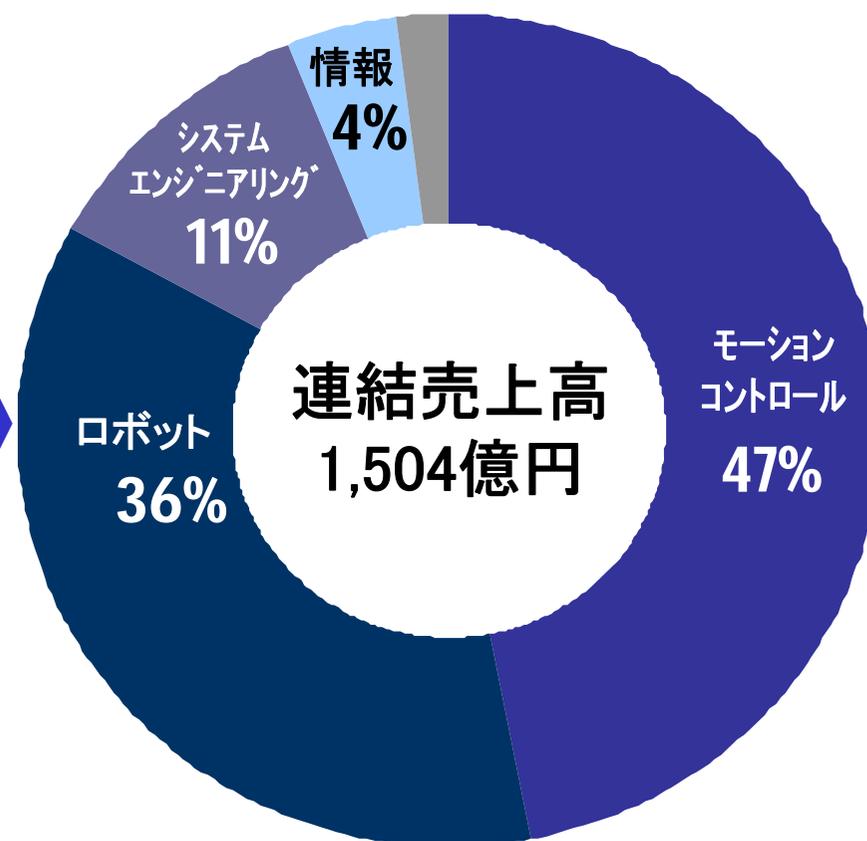
事業セグメント別売上高構成比

・(R)ロボットの構成比が大幅に拡大

11年度上期



12年度上期



仕向先別売上高

- ・米州は、順調に拡大
- ・欧州・その他アジアが減速し、前年同期比で減収

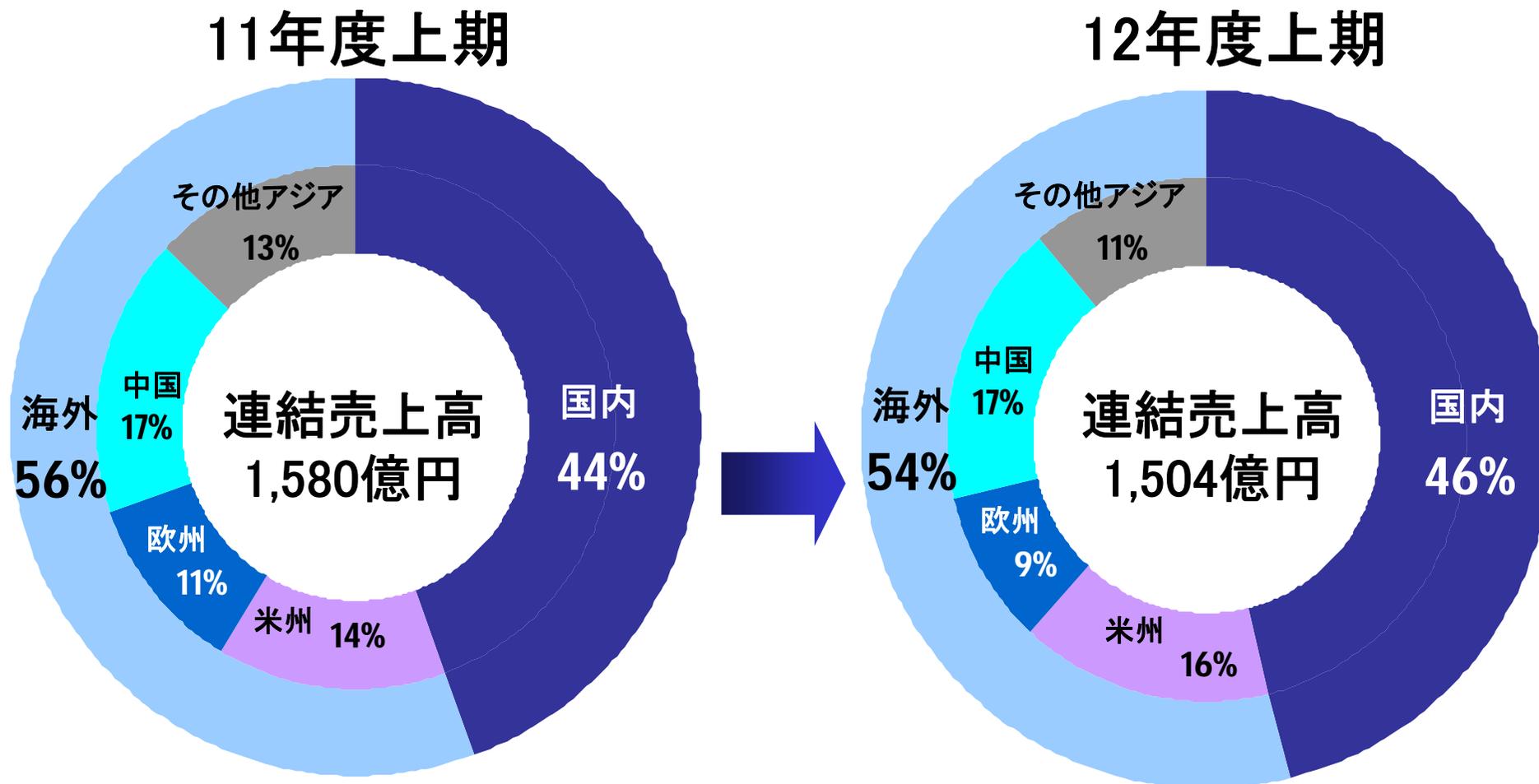
(単位: 億円、%)

	12年度 上期	11年度 上期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	1,504	1,580	▲75	▲4.8%
国内	687	701	▲14	▲2.0%
海外	817	878	▲61	▲7.0%
米州	238	219	+19	+8.7%
欧州	141	175	▲33	▲19.3%
中国	263	268	▲5	▲2.1%
その他アジア	158	207	▲48	▲23.6%

(注) 内訳には「その他地域(オーストラリア等)」の記載は割愛

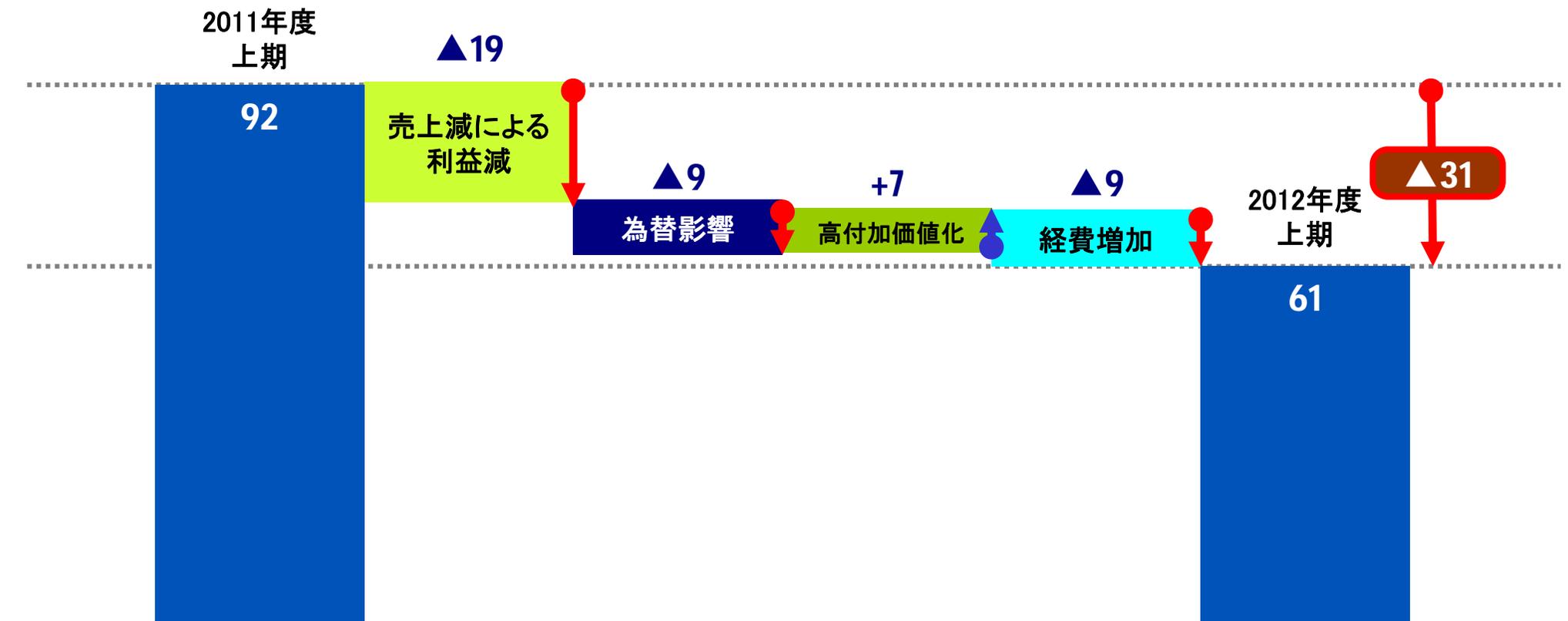
仕向先別売上高構成比

・米州の構成比が16%に拡大



営業利益増減要因分析(2011年度上期 ⇒ 2012年度上期)

(単位:億円)



2. 2012年度下期および通期見通しについて

2012年度通期連結業績見通しのポイント

- ・欧州の金融危機および中国経済の減速により、不透明感が増大
- ・(M)の主要市場である国内エレキ関連が低迷
- ・年度計画を下方修正し、前年度比減収減益

	12/上期	12/下期 今回予想	12/通期 今回計画	12/通期 前回計画	予想比 増減額	11/通期	前年比	
							増減額	増減率
売上高	1,504億円	1495億円	3,000億円	3,100億円	▲100億円	3,071億円	▲71億円	▲2.3%
営業利益	61億円	68億円	130億円	160億円	▲30億円	148億円	▲18億円	▲12.3%
経常利益	63億円	66億円	130億円	160億円	▲30億円	156億円	▲26億円	▲16.8%
当期純利益	34億円	35億円	70億円	90億円	▲20億円	84億円	▲14億円	▲17.0%

(注)表内「12/通期前回計画」は、2012年7月18日1Q決算発表時点の計画数値

2012年度通期連結セグメント別業績見通し

- (R)および(S)は、増収増益
- 一方、(M)は減収減益も、円高対策の推進を中心に質を改善

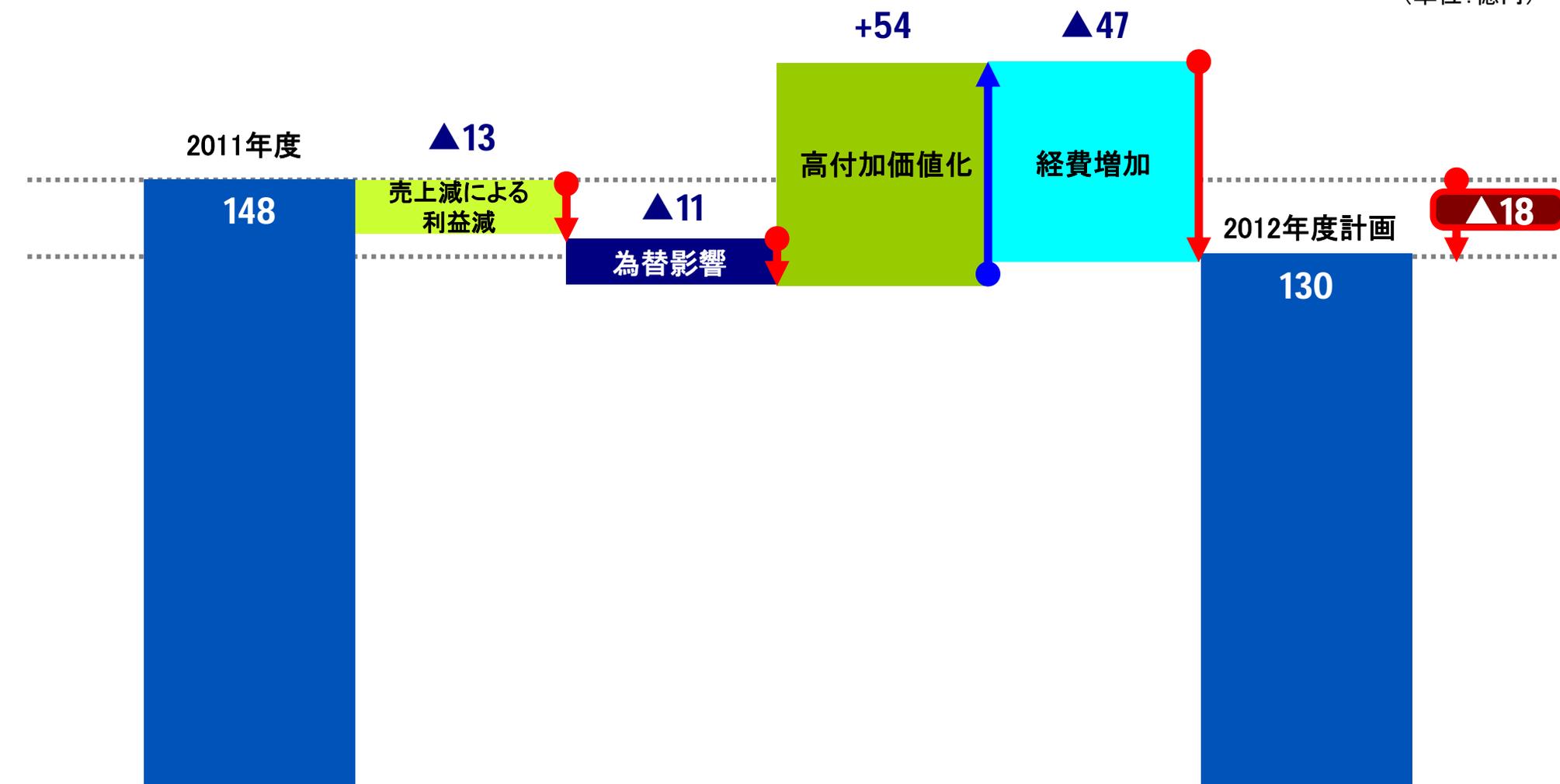
(単位: 億円、%)

	12/通期		12/通期		前回 予想比 (増減額)	11/通期		前年度比	
	今回計画	利益率	前回計画	利益率			利益率	増減額	増減率
売上高	3,000		3,100		▲100	3,071		▲71	▲2.3%
(M) モーションコントロール	1,398		1,500		▲102	1,494		▲96	▲6.4%
(R) ロボット	1,055		1,060		▲5	1,010		+44	+4.4%
(S) システムエンジニアリング	355		360		▲5	355		▲0	▲0.1%
情報	132		130		+2	128		+3	+2.9%
営業利益	130	4.3%	160	5.2%	▲30	148	4.8%	▲18	▲12.3%
(M) モーションコントロール	37	2.7%	50	3.3%	▲12	58	3.9%	▲20	▲34.9%
(R) ロボット	72	6.9%	80	7.5%	▲7	70	6.9%	+2	+3.8%
(S) システムエンジニアリング	19	5.4%	23	6.4%	▲3	19	5.4%	▲0	▲0.4%
情報	1	1.0%	2	1.5%	▲0	▲1	▲1.1%	+2	-
経常利益	130	4.3%	160	5.2%	▲30	156	5.1%	▲26	▲16.8%
当期純利益	70	2.3%	90	2.9%	▲20	84	2.7%	▲14	▲17.0%

(注) 表内「12/通期前回計画」は、2012年7月18日1Q決算発表時点の計画数値

営業利益増減要因分析(2011年度⇒2012年度計画)

(単位:億円)



2012年度下期における取り組み

1) 量の確保

- ・ 成長市場への拡販に注力
 - 中国での販売網増強
 - 欧米での販売ルート・拠点の拡大
- ・ 新規事業展開の加速
 - パワコンの拡販加速(メガソーラーへの分散設置積極提案)
 - 大型風力発電用電気品の受注拡大

2) コア事業の利益率向上

- ・ コスト構造の改善
 - 海外生産拠点のフル活用
 - 生産体制のさらなる合理化
 - 省レアアースモータの市場投入
- ・ 業務のさらなる効率化
 - 業務の無理・無駄を徹底的になくす活動をグループ全体で推進

参考資料

設備投資、研究開発費、為替状況(2010年度～2012年度計画)

◆設備投資の状況(連結)

(単位:億円)

	2010年度	2011年度	2012年度計画
設備投資額	66.6	99.1	130.0
減価償却費	70.6	76.1	85.0

◆研究開発投資の状況(連結)

(単位:億円)

	2010年度	2011年度	2012年度計画
研究開発投資	97.2	103.9	110.0

◆為替状況(連結)

	2010年度			2011年度			2012年度		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期実績	下期想定	通期想定
対 米ドル	89.91円	83.13円	86.52円	80.56円	77.48円	79.02円	80.10円	80.00円	80.05円
対 ユーロ	116.03円	111.77円	113.90円	115.07円	103.91円	109.49円	101.96円	95.00円	98.48円

(注)期中平均レート

連結売上高・営業利益推移(2000年度～2012年度計画)

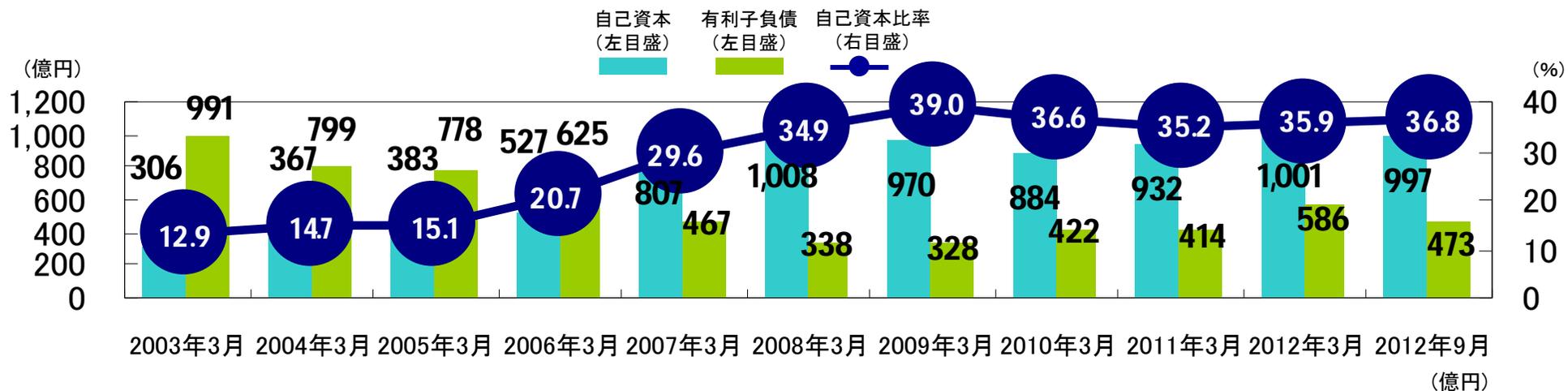


B/S構造の推移(連結)

2012年3月期	
➤ 自己資本比率	35.9%
➤ 自己資本	1,001億円
➤ 有利子負債	586億円
➤ D/Eレシオ	0.59
(ネットD/Eレシオ)	0.38
➤ 棚卸資産	638億円
(回転月数)	(2.5ヵ月)

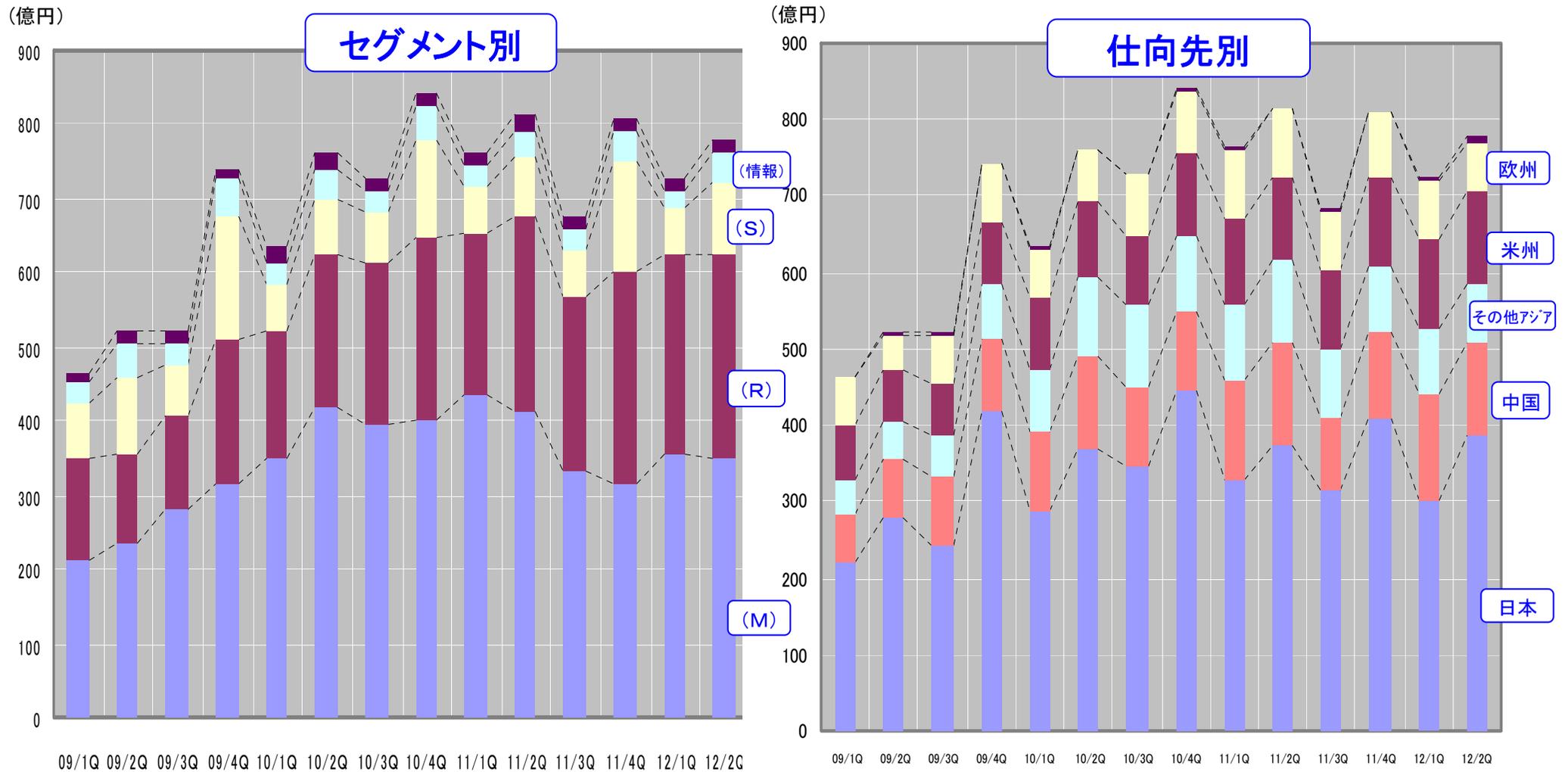
2012年9月期	
➤ 自己資本比率	36.8%
➤ 自己資本	997億円
➤ 有利子負債	473億円
➤ D/Eレシオ	0.47
(ネットD/Eレシオ)	0.24
➤ 棚卸資産	595億円
(回転月数)	(2.3ヵ月)

※棚卸資産回転月数の計算には棚卸資産の期末値を使用



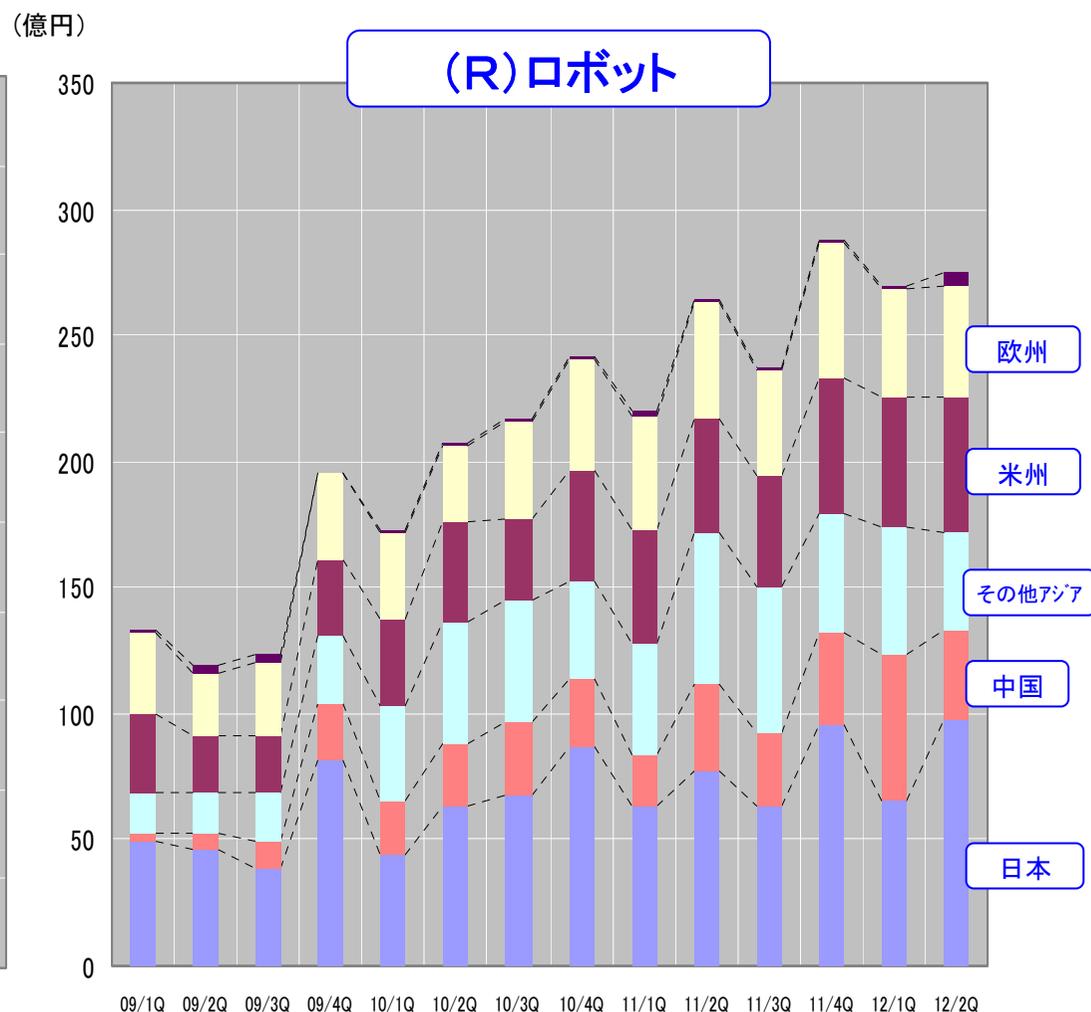
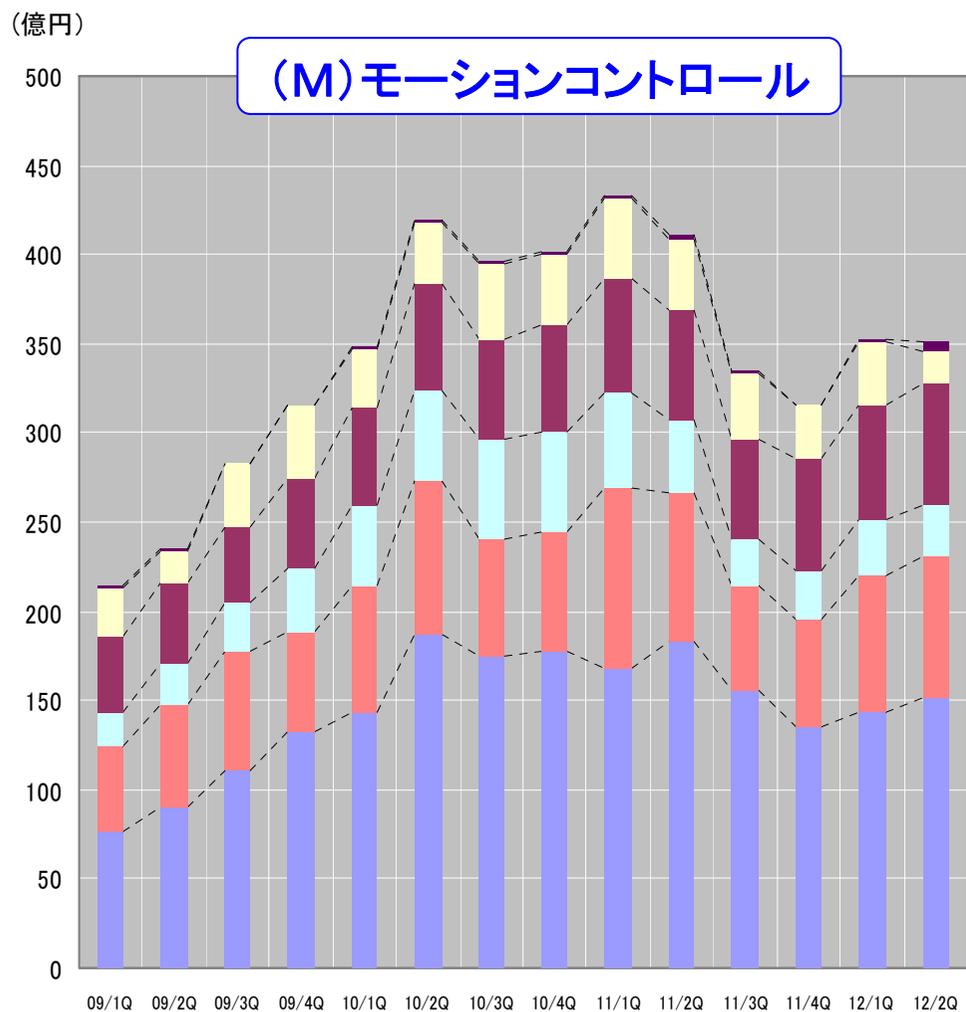
営業CF	84	185	57	187	149	176	124	40	24	63	199
投資CF	▲19	11	▲22	97	▲61	▲99	▲106	▲64	▲67	▲118	▲56
フリーCF	64	196	35	89	88	77	17	▲24	▲42	▲54	142

四半期連結売上高推移(セグメント別・仕向先別)

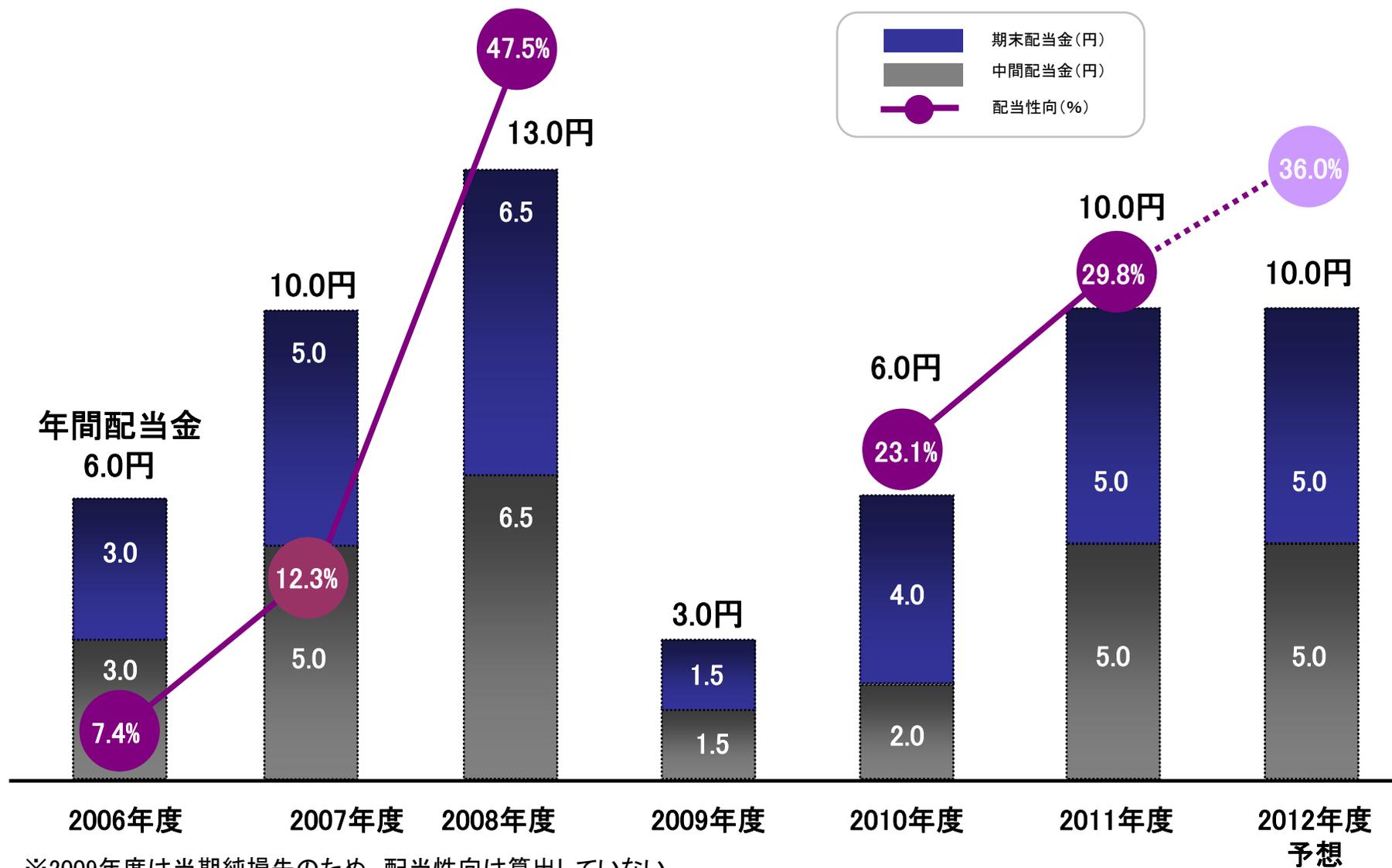


(注) 表記: (M) = モーションコントロール (R) = ロボット (S) = システムエンジニアリング

(M)(R)四半期連結売上高推移(仕向先別)

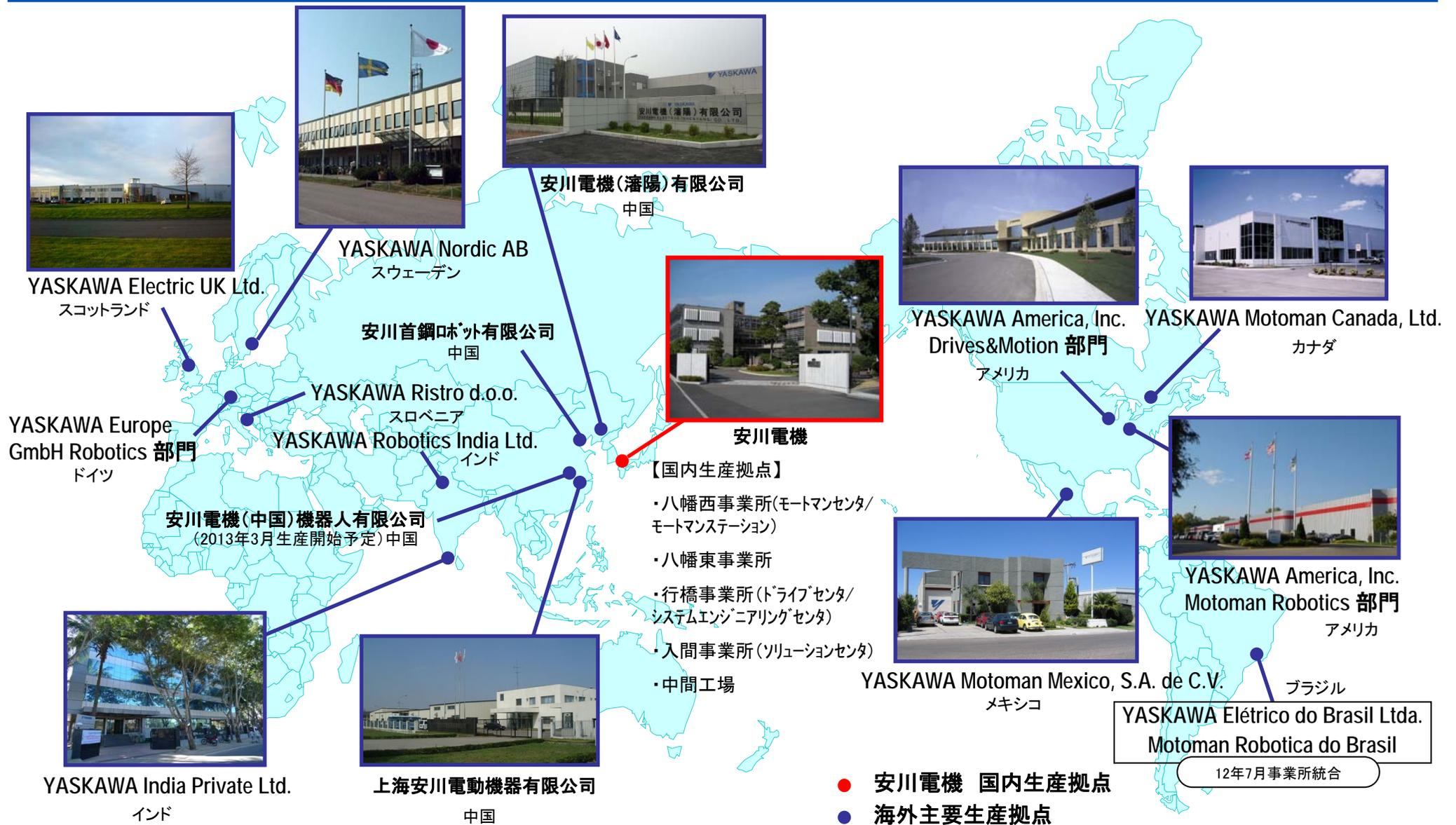


配当金の推移(2006年度～2012年度予想)



※2009年度は当期純損失のため、配当性向は算出していません。

主要生産拠点 (グローバル事業展開を支える世界最強のネットワーク)



アジア地域における取り組み

